



平成 25 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 東邦アセチレン株式会社
代表者名 取締役社長 藤井 恒嗣
(コード番号 4093 東証第 2 部)
問合せ先 取締役
常務執行役員 小西 国温
(TEL. 022-385-7692)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月 13 日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 25 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 24 年 5 月 14 日公表)	前期実績 (平成 24 年 3 月期)
基 準 日	平成 25 年 3 月 31 日	同左	平成 24 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	2 円 00 銭	未定	0 円 00 銭
配 当 金 の 総 額	69 百万円	—	—
効 力 発 生 日	平成 25 年 6 月 28 日	—	—
配 当 原 資	利益剰余金	—	—

2. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要課題として認識しており、当社を取り巻く環境の変化、業績及び財務状況を総合的に勘案して、配当政策を決定することを基本方針としております。

当社は、過去において二度にわたる大口取引先の破綻による不良債権の発生、投資の見誤りによる減損処理等により、多額の特別損失の計上を余儀なくされ、配当につきましては、昭和 59 年 4 月期以降、今日までの長きにわたり、誠に遺憾ながら無配としてまいりました。

その間、大株主 3 社の支援による不良債権の処理、販社の統合・再編による構造改革の断行、全社にわたる経費削減の徹底等、経営効率の改善に向けた見直しを行い利益の確保に努めてまいりました結果、過去の累損も一掃し、その後は収益も順調に回復傾向にありました。

しかしながら、一昨年の東日本大震災では甚大な被害を蒙り、再度多額の特別損失の計上を余儀なくされました。多方面からのご支援と懸命の自助努力により、被災施設の復旧・復興に取り組み、同時に不良資産の処分も積極的に行い、さらに震災補助金の適用を受けることもできたことにより、財務構造の改善を進めることができました。また、今後につきましても収益基盤の強化を図ってまいります。内部留保を総合的に勘案した結果、復配の目途がついたものと判断されることから、今回配当予想を修正し、1 株当たり 2 円の期末配当を実施する方針といたしました。

なお、期末配当につきましては、平成 25 年 6 月 27 日開催予定の第 79 回定時株主総会の決議を経て正式に決定、実施する予定であります。

※ 配当予想は次のとおりです。

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		2円00銭	2円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (平成24年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以上